

胃カメラ（経鼻内視鏡検査）をご希望の方へ

胃カメラ（経鼻内視鏡検査）をご希望の方へ

胃カメラ（上部消化管内視鏡検査）について 胃の調子が悪いなどありませんか？

健診で胃の異常を指摘されたことはありませんか？

あるいは自覚症状がないから自分は大丈夫など油断していませんか？

さらには「胃カメラは苦しい」というイメージがあまりに強く、検査を避けてきていませんか？

当院では苦痛の少ないとされている経鼻内視鏡をご用意しております。先端に外形5.9mmの内視鏡を鼻から入れて検査を行います。口から入れる経口内視鏡よりも「オエッ」となる咽頭反射が少なくなります。病気の早期発見、治療のためにも胃カメラの検査をお勧めします。

また、「胃の痛み」、「不快感や違和感」、「胸焼け」、「吐き気」、「食欲不振」などの症状は胃炎や胃潰瘍でも起こる症状です。これらの症状はピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ菌）の感染による症状の可能性があります。

胃カメラではピロリ菌の感染の確認や胃炎の程度の把握が可能となります。現在はピロリ菌の除去療法によりこれらの症状が改善され、胃がんの発生リスクも軽減できるとされています。

以前に胃炎を指摘されたことがある方、ピロリ菌感染が心配な方は一度ご相談下さい。



胃カメラ（経鼻内視鏡検査）の注意事項

検査前日

夕食は普段の食事で、夜9時までに済ませて下さい。**以降、検査終了までは絶食となります。**水分（水・お茶・スポーツドリンク）は飲んで頂いても構いません。

検査当日

少量の水分（水・お茶・スポーツドリンク）は飲んで頂いても構いませんが、検査時間の2時間前からは控えてください。糖尿病薬は中止です。血圧や心臓系の薬（抗血栓剤）は服用して下さい。その他内服薬に関してご不明な点はご遠慮なくご相談ください。

クリニックに来院後、内視鏡室にて検査の準備を開始します。

＊鎮静（眠った状態）での検査をご希望される場合は申し出てください。

＊鎮静をご希望される場合は自動車やバイク、自転車等の運転でのご来院はご遠慮ください。

女性の方は身体を締め付ける様な下着（ガードルやボディースーツ等）は着用は控えて下さい。

検査

最初に胃の中をきれいにする薬を飲んでいただきます。
次に、鼻腔に局所血管収縮剤をスプレーします（図2）。
鼻の通りをよくするだけでなく出血の予防も兼ねています。
引き続き、鼻腔に局所麻酔薬を注入します（図3）。
内視鏡の通りをスムーズにするため、柔らかいチューブを鼻に挿入します（図4）。
鼻腔の処置が終了後、チューブを抜き検査開始となります。



＊鼻腔の狭い患者様は経口内視鏡の前処置に変更する場合があります。

検査はベッドに横になった状態で行います。
所要時間は10分程度ですが、生検検査（細胞の検査）を行う場合は追加時間があります。全身の力を抜いて、腹式呼吸を行っていただくと検査は安楽に受けて頂けます。
検査中は医師と看護師がついていますので、何か不安な事がありましたらご遠慮なく申し出て下さい。



検査後

食事は検査終了後1時間程度経過してから摂っていただきますが、
刺激物や暴飲・暴食は避けてください。
検査終了後、激しい腹痛や吐き気、おう吐がある場合はご連絡ください。



生検検査の結果は1週間程度で判明しますので、後日、再診して頂きます。
※事前に診察を受けられた方はお渡ししている説明書の内容を再度ご確認ください。

その他、ご不明な点、検査を延期される場合などございましたらご遠慮なく当院までご連絡下さい。

検査の費用（健康保険3割負担の場合）

検査のみ 約4,000円
生体検査が追加された場合、約4,000円が追加となります。

※採取する組織の個数や部位により費用が変わります。
※上記検査費用は概算です。検査料のみで診察料または投薬料などは含んでません。
※使用薬剤により費用が変わる場合があります。